

日本史B

(002東書・日B003・新選日本史B)

レポート提出回数 **12** 単位数 **4**

必要面接時数 **4**

1. 学習の到達目標と取り組み

目標	我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察し、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。
目標に向けての具体的な取り組み	①我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国民としての自覚と日本人としての責任を果たす努力をする。②我が国の歴史の展開から課題を見出し、世界史的視野に立って考察し、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めるとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。③我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して、歴史的事象を追求する方法を身につけるとともに、その過程や結果を適切に表現できるようにする。④我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を世界史的視野に立って総合的に理解し、その知識を身につける。

2. 年間学習計画と評価方法

月	内容のまとめ(編)	主な学習目標と学習活動	単元・題材	レポート		スケーリング	Aテスト日と範囲	評価方法
				回数	期限			
4月	第1章 古代国家の形成と古代文化	(1)「歴史の考察」 歴史を考察する基本的な方法を理解するとともに、主題を設定して追究する学習、地域社会にかかわる学習を通して、歴史への関心を高め、歴史的な見方や考え方を身につける。 ①資料をよむ、資料にふれる。②テーマ別学習を進める。 (2)「原始・古代の社会・文化と東アジア」 原始社会の人々の生活の変化、大和朝廷による統一、律令に基づく古代国家の成立と推移及び文化の形成について、東アジア世界の動きとも関連付けて理解する。	1 原始社会の生活と文化	No.1 P5～25	5/1	5/5	第1回 7/7	レポート・面接授業・テストを通して、評価する。
			2 農耕社会の形成と大陸文化の摂取	No.2 P26～47	5/15			
5月	第2章 武家社会の形成と中世文化	(1)「中世の社会・文化と東アジア」 武家政権成立から戦国時代に至る武家社会の進展と文化の展開について、東アジア世界の動向と関連付けて理解する。 ①公武関係と武家政権誕生、宋・元とのかかわりや鎌倉新仏教に見る新しい気運を理解する。 ②日明貿易や庶民の台頭に着目して、産業経済の発展や下剋上など中世社会の多様な展開、各階層を越えた庶民文化の萌芽など文化の動向について理解する。	3 律令国家の形成と古代文化の展開	No.3 P48～62	6/5	5/19	教科書 p 5～81	
4 貴族政治と国風文化の発達			No.4 P63～81	6/19				
6月	第3章 近世社会の形成と庶民文化の展開	(1)「近世の社会・文化と国際関係」 織豊政権及び幕藩体制の特色と推移、社会・文化の動向について、国際関係の変化とその影響について理解する。 ①ヨーロッパ世界との接触と影響、鎖国などその後の対外関係、支配体制と身分制度、文化の特色に着目して、織豊政権、幕藩体制の特質について理解する。 ②経済機構や交通・技術の発展、都市の繁栄に着目して、農業・商工業の発展及び町人文化の形成、農山漁村の生活文化について理解する。 ③欧米諸国のアジアへの進出、学問・思想及び産業の新たな展開に着目して、幕藩体制の動揺と近代化の基盤の形成について理解する。	1 武家社会の形成と文化の新気運	No.5 P82～102	8/7	6/16	第2回 11/3	レポート・面接授業・テストを通して、評価する。
7月			2 下剋上の社会と庶民文化の萌芽	No.6 P103～125	9/4			
8月	第4章 近代国家の形成と国民文化の発展	(1)「近代日本の形成とアジア」 開国、幕府の滅亡と明治時代の近代日本の歩みについて、アジアにおける国際環境と関連付けて考察する。 ①欧米文化・思想の影響や国際環境の変化に着目して、我が国の近代化の推進について考える。 ②日清・日露戦争と諸外国との関係の推移、立憲国家としての展開、近代産業の発展による社会問題の発生、近代文化の特色などについて考える。 (2)「両世界大戦期の日本と世界」 第一次世界大戦から第二次世界大戦に至る我が国の歴史について、世界情勢と国内の動きを関連付けて考察する。 ①国際社会、アジア近隣諸国との関係に着目して、両世界大戦に至った背景、国内の経済・社会への影響などを学習する。	1 ヨーロッパ文化との接触と国内統一	No.7 P126～139	9/18	9/1	教科書 p 82～156	
9月			2 幕藩体制の成立	No.8 P140～156	10/16			
10月	第5章 現代の世界と日本	(1)「第二次世界大戦後の日本と世界」 第二次世界大戦の終結から今日に至る我が国の歴史について、世界の動向と関連付けて考察するとともに、広い視野から日本の文化や課題についての認識を深める。 ①占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立など我が国の再出発と、戦後の日本経済の発展、国民生活の向上について考える。 ②国際理解の推進、国際貢献の拡大などに着目して、現代世界の動向と日本の課題及び役割について考える。	3 近世社会の発達と町人文化	No.9 P157～179	11/6	10/6	第3回 1/26	レポート・面接授業・テストを通して、評価する。
11月			4 近世社会の動揺と庶民文化の発達	No.10 P180～205	11/20	10/20		
12月	第5章 現代の世界と日本	(1)「第二次世界大戦後の日本と世界」 第二次世界大戦の終結から今日に至る我が国の歴史について、世界の動向と関連付けて考察するとともに、広い視野から日本の文化や課題についての認識を深める。 ①占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立など我が国の再出発と、戦後の日本経済の発展、国民生活の向上について考える。 ②国際理解の推進、国際貢献の拡大などに着目して、現代世界の動向と日本の課題及び役割について考える。	1 開国から明治維新へ	No.11 P206～238	12/4	11/17	教科書 p 157～289	
1月			2 立憲政治の形成と国民文化	No.12 P239～289	1/8	12/1		
			3 日本の近代化と東アジア					
			4 デモクラシーと市民文化					
			5 激動する世界と日本					
			1 占領と国内改革					
			2 国際社会への復帰と高度経済成長					
			3 石油危機と低成長の時代					
			4 新しい国際秩序と日本の課題					

* 学習進度が早いので、注意してください。

3. 評価の観点

評価の観点	観点の内容
関心・意欲・態度	歴史の展開に対する関心と、課題意識を高め、意欲的に追求しようとしているか。
思考・判断	課題を見つけ、世界史的視野にたって考察できるか。日本の文化と伝統の特色について認識を深めつつ、国際社会の変化を踏まえ公正な判断ができるか。
資料活用の技能・表現	資料・情報を収集活用し、歴史的事象を追及する方法を身につけられたか。追求考察した結果を適切に表現できるか。
知識・理解	基本的な事柄を、世界史的視野にたって総合的に理解し、その知識を身につけているか。